

浄土真宗本願寺派 兼重山 金蔵寺



# 金蔵寺通信

第23号

令和元年10月

## 恩徳讃

**如来大悲の恩徳は  
身を粉にしても 報ずべし  
師主知識の恩徳も  
ほねをくだきても 謝すべし**

「恩徳讃」は、法要の終わりになどに歌われる「うた」です。この曲が、法要の終わりの歌のように思う方も多いのではないのでしょうか？しかも、歌詞には「身を粉にしても」「ほねを砕きても」といった言葉が使われています。びっくりします。「恩徳讃」は、親鸞さまのお言葉です。「和讃」といわれる七五調の詩です。曲がついて歌われるようになつていますが、もともとは、たくさんある「七五調の詩」の一つです。

す。ここまで、阿彌陀さまの恩に報いるために返していかなければいけないのか？という事ではありません。親鸞さまは、阿彌陀さまが、自らのさとりを為すだけではなく、我も人も共に救われていく。それも、罪業を抱えたままの私たちをそのまま救いとってくださると、阿彌陀さまの救いの目当てが他ならぬ自分自身であり、このように私こそ、救われていく慶びに、感謝しても足りない、親鸞さまが阿彌陀さまの徳を歎かれたお言葉です。報ずべし。謝すべし。とは、感謝しなさいという、命令ではなく、ご恩報謝の身に、自然となつていくという親鸞さまの心の表れです。

阿彌陀さまの必ず救うぞという願いが、南無阿彌陀仏のお念仏となつて、いつも、私のもとに届いてくださっている。「師主知識」とは、師主はお釈迦様、知識は浄土経を説いてくださった恩師たちのことです。お寺の本堂の右余間の七高僧などが浄土経のご縁をお釈迦様より繋ぎ結んでくださった方々です。そして、身を粉にしても報ずべし、ほねを砕きても謝すべし。と聞く、なんだか恐ろしい感じではない。ここまでは、阿彌陀さまのご恩に報いるために返していかなければいけないのか？という事ではありません。親鸞さまは、阿彌陀さまが、自らのさとりを為すだけではなく、我も人も共に救われていく。それも、罪業を抱えたままの私たちをそのまま救いとってくださると、阿彌陀さまの救いの目当てが他ならぬ自分自身であり、このように私こそ、救われていく慶びに、感謝しても足りない、親鸞さまが阿彌陀さまの徳を歎かれたお言葉です。報ずべし。謝すべし。とは、感謝しなさいという、命令ではなく、ご恩報謝の身に、自然となつていくという親鸞さまの心の表れです。

る曲調で作曲され、今日の法要行事の最後によく歌われる曲として定着しています。法要の最後にこの曲が始まったら、帰る支度をするのではなく、親鸞さまの阿彌陀さまへの感謝せずにはおれないというお心を感じさせていただき、阿彌陀さまへの報恩感謝の思いを歎かせて頂きたいと思ひます。

「金蔵寺の明日を考える会」を八月に総代・世話方、仏教壮年会に案内をさせて頂いたとき開催しました。班ごとに分かれて、みんなの意見を聞き合せて、全体会で発表をするという流れで、話し合いテーマは「年間行事・活動の点検」とテレビなどのメディアで視た「他の寺院の活動から学ぶ」という2つのテーマでした。その中で、恩徳讃など、身近な歌の意味など、身近なところからみ教を学びたいといった意見がありました。初めての試みで、テーマはあまり関係なく参加者が、お寺への思い、自分ができることお話ししてくださいました。グループワークには、発言の機会を増やし、聞くだけの聴講者から、発言し責任感から自ら行動をする思いを育てるはたらきがあるように思いました。愛着をもちお寺のために前向きなご意見を聞かせていただき、安心と感謝の念に絶えませ

合掌

行事報告

六月一日(土) 金蔵寺サロン

六月八日(土) 仏具のおみぎき

六月十五日(土)

清掃奉仕、永代経法要の準備

六月十六日(日)

令和元年 金蔵寺 永代経法要  
本願寺派布教使 山下 瑞円 師  
(岡山・成羽町 浄福寺 副住職)

七月一日(月) 金蔵寺サロン

七月十四日(日) 夏の清掃奉仕

八月十四日(水) 盆法要

八月十七日(土)

神石組 サマースクール (正光寺)

八月二十五日(日)

第一回 金蔵寺の明日を考える会

九月一日(日) 金蔵寺サロン

金蔵寺クラウドゴルフ大会

十月一日(日) 金蔵寺サロン

十月六日(日) 仏教壮年会 研修旅行(香川)

「金蔵寺サロン」

昨年の六月から始めて、はや1年の月日が経ちました。参加してくれる人数は、余り多いとは言えませんが、こうした活動をする事、続けることに意義を見出して毎月一日に開催しています。このサロンに来ることを喜び、楽しみに通ってくれる人たちがいます。「来月もまた来ます」うれしい言葉です。お寺にお参りすることを慶び、ご先祖さまに感謝して手を合わせその姿を尊く思うことでした。

お勤め、ご法話、お茶会、お昼ご飯を食べて帰ります  
六月 箸袋作り  
七月 折り紙でコースター作り  
八月 お休み  
九月 クラウドゴルフ大会  
十月 歌を歌う「糸」「恩徳讃」



令和の記念に1枚



箸袋やコースター作り。指先の運動になります



八月十七日(土) 正光寺  
神石組 サマースクール

近田の正光寺さんで、神石組サマースクールがありました。金蔵寺からは十一名の子供さんの参加がありました。午前中は、正光寺さんの元・先生だったご門徒さんのご協力で、実物を目の前にした自然教室、竹で出来た弓と弓矢、竹とんぼで遊びました。お昼は、流しそうめん。午後からは、金蔵寺の住職が講師となって、ジェルキャンドル作りをしました。自然教室では、カラスのはく製、かえるなど実物を展示、説明してくださいました。

「都会のカラスと田舎のカラス何が違うのか？」

そんな質問を子どもたちにしていましたが、カラスの違いがあることに驚きました。都会でごみ袋を食べ荒らすカラスたちは、頭をコンコンと打ちつけるから、くちばしは太くなり、頭の大きさが大きくなっている。一方田舎のカラスは、くちばしは細く、頭が小さいそうです。この話を聞いた時、「へー」と感心したことでした。実に面白い自然教室でした。

ジェルキャンドル作りは、事前に住職が作った際に、わかりやすく説明しながら、動画を撮ったものをスクリーンに映し出し、みんなに見てもらってから作り始めました。口頭で説明するよりずっとわかりやすかったと思います。なんとこの動画をユーチューブにUPしたので、なんちゃってユーチューバーです(笑)。

手作りの竹の弓を体験



お昼は、流しそうめん♪



ジェルキャンドル作り。好きな貝殻やビー玉を選んで中に入れてマリン風に。



九月一日(日)  
グラウンドゴルフ大会、  
親睦会

昨年は、台風のため中止となったグラウンドゴルフ大会。今年もずっと雨が降り続いていて天候が心配されました。何とか開催することが出来ました。当日は、予定より早く雨が降り出しました。途中からは止んでくれたりと有難かったです。外で予定していた親睦会の会場もい로운な知恵を出し合い、急遽会館内で出来るように段取りしたり、仏教壮年会のみなさんには、準備、運営、片づけといつもお世話になっていきます。ご門徒さんだけでなく、神石組の法泉寺のご門徒の方々や地域の方々など、みなさんに喜んで帰ってもらえて良かったなと思います。「また来年もお願ひします」その言葉をうれしく思ったことでした。

来年もたくさんのご参加と、この会を運営してくれるたくさんの方の仲間を大募集しています。

今年の順位)

- 優勝 門田 智明
- 第二位 平石 裕幸
- 第三位 横山 栄治

上位者だけでなく、ブービー賞、ホーリンワン賞、みんなに何らかの景品を持って帰ってもらえるように用意しました。

### 八月二十五日(日) 第一回 金蔵寺の明日を考える会



グラウンドゴルフ大会、  
今年の優勝は門田智明さん♪

増改築事業が無事終わり、今年度より新しい役員体制になりました。施設などのハード面が整った今、組織や金蔵寺の今後のあり方などソフト面を充実させたいという思いを踏まえて、この度、「金蔵寺の明日を考える会」を総代、世話方、仏教壮年会会員にお声掛けし開催しました。総代長が目指す、地域のみなさんの拠り所として気軽に  
お参り出来る「地域に開かれたお寺」。これを実現するためにも、金蔵寺が今後どういう体制を作っていくか、長くお寺を護持していくためにはどうしたら良いのか、世話方さんの役割は？第一回の参加してくださった人数は多く

はありませんでした。ワークシヨップ形式で二班に分かれて、活発な意見が交わされました。ワークシヨップで出された意見は、良い悪いを判断したり、否定したりするものでなく、一つの意見として聞かせてもらいました。そこで交わされた意見を今後取り入れたり、論議したりして、金蔵寺の明日に役立てることが出来たらと思います。最近、過疎や後継者不在のため、廃寺、宗教法人の解散といった記事やニュースをよく目に、耳にします。過疎の町にある金蔵寺も他人事ではありません。早くから問題意識を持ち、取り組みをしようということ、大変有難いことです。

### 十月六日(日)

### 仏教壮年会 研修旅行

この度、始めて日帰り、香川県に研修旅行に行きました

庄松しょうま(法名は正真しょうま) 妙好人の墓所  
正真堂  
四州教区 塩屋別院

にお参りし、昼食は讃岐うどん、夕食は、骨付鳥を食べて帰ってきました。内容的にも充実した、和気あいあいととても楽しい旅行となりました。妙好人とは、浄土真宗の門徒の篤信の人で、お念仏を歡び、阿弥陀仏に救

われた歡びの日々を送る人たちのことです。庄松さんは讃岐の庄松(しょうま)と言われ、妙好人の一人として有名です。



塩屋別院  
本願寺のように大きな建物でした

お供え  
ありがとうございます

○お初穂(お仏飯米)

平岡 哲美 様  
行則 幸夫 様  
○永代経法要の供物 餅  
日下 恵

年忌表 (二〇二〇年)

一周忌	平成三十一年、令和元年 (二〇一九)
三回忌	平成三十年 (二〇一八)
七回忌	平成二十六年 (二〇一四)
十三回忌	平成二十年 (二〇〇八)
十七回忌	平成十六年 (二〇〇四)
二十五回忌	平成八年 (一九九八)
三十三回忌	昭和六十三年 (一九九四)
五十回忌	昭和四十六年 (一九七一)

年忌が該当しているお宅には、年忌のご案内を送付させていただきます

「ご法事とは何か？」

ご法事をご縁として、亡き人をご縁として、今の私たちが仏さまに出逢う機会、自分の生き方、足元を見直す機会だと思えます。決して追善供養ではありません。

「こんな時でない、会えない」

そんな声も良く聞きます。お付き合いが希薄になりつつある昨今、有縁の方が集まって、一緒に勤めただけならと思いません。

お寺でご法事を勤める方も増えています。増改築で新しくなった金蔵寺にどうぞお参りください。

ご法事の日時が決まったら、まずお寺に都合をお問い合わせください



〈お寺で法事をされる方〉

①お花一対 (持ち物)  
\*バラなどトゲがある花はお供えしません

②お菓子  
箱菓子や個々のお菓子  
高杯にお供えします

③果物  
盛り籠や個々の果物  
高杯にお供えします

④写真、過去帳など  
湯茶、お菓子は、  
お寺の方で用意します

〈お寺でお斎をされる方〉

会館をご法事のあとのお斎(食事)の場所としてお使いいただけます  
弁当などの手配をお願いします  
いろいろご相談にのります  
お気軽にご活用ください

ご当家の方は、  
少し早めにお越しください  
使ったものは、  
元に戻してお帰りください

### 無財の七施

- 一、眼施（げんせ）  
人に対し、やさしい眼差しで接すること。
  - 二、和顔施（わげんせ）  
柔和な顔で接すること。
  - 三、言辞施（ごんじせ）  
やさしい言葉で接する。
  - 四、身施（しんせ）  
自分自身を正し、身体で、尽くす。
  - 五、心施（しんせ）  
思いやりの心を持って相手に接する。
  - 六、床座施（しょうざせ）  
相手に席をゆずったり、立場をゆずること。
  - 七、房舎施（ぼうしゃせ）  
場所をあたえ、あたたく迎える。
- このように、お布施はお金だけではありません。私の心の持ち方一つで、すぐに出来る布施もあるわけです。
- 自分さえ良ければ人はどうでもいいという狭い考え方を捨てて、一人でも多くの人々が、仏法に耳を傾け、日々「無財の七施」を実行して行けば、素晴らしい人間関係が出来、又素晴らしい国や世界になることでしょう。

### 坊守のつぶやき

いつも「編集後記」でいろんな思いを書かせていただいた「坊守のつぶやき」をコーナーにしてみました（笑）。

先日、親戚のお寺のご法事にお参りさせて頂いたのですが、何代もさかのぼって半のみなさんとは、このお寺のご法事でしか会うことがありません。ふと見ると、いつもはご主人である住職さんがお参りするところを、坊守さんが来られている親戚がおりました。それは、その前の週に坊守の合唱団で一緒にいた坊守さんでした。「合唱団ではお会いするけど、まさかこんなところでお会いするなんて。」と開口一番。「ここで会えたのも、亡き人をご縁に繋がっていたという有難いご縁だったんだわね。」と。そんな話をしながら、ご法事で親交を深めることが出来ました。また高齢のおばあちゃんも、「ご法事に来たからみんなと会えた。みんな繋がっている」と、ここでしか会えない親戚との

時間を楽しんで、とてもうれしそうでした。ふと思いましたが、呼んだり呼ばれたりすることがなくなると、親戚関係もドンドン希薄になって関係がゼロになってしまううと。自分が生きていっているうちはいいのですが、でも世代が代わっていくと、親戚だったこともなかったように関係がなくなってしまう寂しいことです。

その点、お寺の親戚付き合いはすごいなと感じます。「どんな親戚だったか？」嫁いで十五年。住職から説明を受けるが未だにわからない親戚もちらほら（困）。それでも親戚だからと繋がりを持っていることがすごいなと思うことです。人との繋がりは煩わしい？いやそうでなくてむしろ今の時代素晴らしいことだと思います。

合掌



令和元年 行事案内

金蔵寺サロン

日時

毎月1日 10時から

11月1日 (金)  
12月1日 (日)  
餅つき大会  
1月はお休み  
2月1日 (土)  
3月1日 (日)  
4月1日 (水)  
5月1日 (金)

参加費 300円

十月二十六日(土) 仏具のおみがき  
十三時半より  
十一月九日(土) 清掃奉仕、  
報恩講法要の準備  
九時より  
十一月十日(日) 報恩講法要  
朝席 十時より  
昼席 十三時半より  
十二月一日(日) 餅つき大会、  
金蔵寺サロン  
十三時より  
十二月三十一日(月) 除夜会  
二十三時半より  
今年最後のお勤めをします  
毎年、カウントダウン花火を上げ  
たり、豚汁を振舞います

報恩講法要

日時

11月10日(日)

朝席 10時  
昼席 13時30分

法話

森岡 恵隆 師  
(広島市安佐南区 法隆寺)

おみがき

10月26日(土) 13時30分

清掃奉仕

11月9日(土) 9時

金蔵寺の報恩講法要は、  
毎年十一月第二日曜日



令和二年 行事案内

一月十九日(日) 十四時  
総代、世話方会

二一日(土) 金蔵寺サロン

三月一日(日) 金蔵寺サロン

四月一日(水) 金蔵寺サロン

五月一日(金) 金蔵寺サロン

六月一日(月) 金蔵寺サロン

六月十三日(土) 仏具のおみがき

六月二十日(土) 清掃奉仕、  
法要準備

六月二十一日(日) 永代経法要

七月一日(水) 金蔵寺サロン

七月二十三日(木) 夏の清掃奉仕

八月十四日(金) 盆法要

(日程未定行事)  
クラウンダブル大会  
神石組 サマースクール  
念仏奉仕団

お手伝い担当地域

永代経法要

① 仏具のおみがき  
 六月十三日 (土) 十三時半より

- ・小島地区
- ・来見地区
- ・新市町 金丸・常・宮内

② 清掃奉仕、永代経法要の準備  
 六月二十日 (土) 八時半より

- ・上地区
- ・福山市 (新市町を除く)

報恩講法要

① 仏具のおみがき  
 十月二十六日 (土) 十三時半より

- ・上地区
- ・福山市 (新市町を除く)

② 清掃奉仕、報恩講法要の準備  
 十一月九日 (土) 九時より

- ・小島地区
- ・来見地区
- ・新市町 金丸・常・宮内

お誘い

餅つき大会  
 十二月一日(日)  
 十三時より

参加費 三〇〇円

仏教壮年会の方、有志のご婦人方にお手伝いいただきながら、今年も開催します。

餅つき大会は、子ども行事として始めましたが、金蔵寺サロンも兼ねるようになり、どなたが来られても大丈夫です。老若男女おられます。遠慮なくお越しください。石臼でついたお餅は格別です。きなこもち、あんこもち、ぜんざい、イチゴ大福などいろいろ食べてお腹いっぱいになって帰ってください。また、お餅をついたり、丸めるのが得意な方、大募集しています。お手伝いよろしくお願います。



浄土真宗 本願寺派

兼重山 金蔵寺

神石郡神石高原町上二三七四  
 ☎ 〇八四七七八五―四三三三  
 FAX 〇八四七七八五―四三三三



【編集後記】

台風十九号を始めとした自然災害で被災されたみなさまに謹んでお見舞い申し上げます。昨年起きた七月豪雨災害を、東日本大震災を彷彿させる映像が連日報道されています。何が起ったかわからない状況が続いています。幸いここに住む私たちは、何事もなく日常を過ごすことが出来ています。本当に有難いことです。でも家を亡くし、家族を亡くし、被災された方たちの当たり前の毎日が戻るのはいつになるのでしょうか。そんなことを思ったとき胸が締め付けられる思いになります。来年にはオリンピックピックが開催されます。被災された方の生活が早く取り戻せることを念じつつ、私に何が出来るのか考えたいと思ったことでした。

いつも試行錯誤する新聞作り。なかなか上手くいきません。今回は、題字のレイアウトを替えてみました。新聞に対するご意見いただけたらと思います。

合掌 坊守